2024～25年度 開通記念特集

災害に強いネットワーク整備 全国で前進

後志自動車道（仁木～余市）

北海道開発局が整備を進めてきた後志自動車道仁木IC～余市ICが3月23日に開通した。

後志自動車道は、倶知安町と小樽市を結ぶ自動車専用道路。仁木IC～余市IC間（3・3㌔）は、後志地域と札幌市、新千歳空港とのネットワーク機能の強化を図り、物流強化、観光振興、救急搬送の安定性・速達性向上などの支援を目的として整備を行うもの。

渡り初めの模様

同自動車道は2018年に小樽JCTから余市ICまでが開通済みで、今回の開通により延長は26・6㌔となる。

登川大橋

同区間の主要な橋梁は、登川大橋（橋長430㍍、幅員10・5㍍、3径間連続鋼合成細幅箱桁橋2連）や、2番地通橋（橋長48㍍、幅員14・4㍍、単純鋼合成少数鈑桁）など、いずれも令和5年度までに完成している。

開通記念式は開通日当日、11時から余市郡仁木町の仁木町民センターで開催され、吉井章国土交通大臣政務官は「今回の開通により、北海道の中心都市である札幌市や、物流の拠点である新千歳空港と仁木町が高速ネットワークで結ばれ、農産品の物流効率化や、ニセコ観光圏などへの移動時間短縮など、非常に大きな整備効果が期待されている」と話した。さらに「我が国の豊かな暮らしを支える北海道のポテンシャルを最大限発揮するため、未開通区間の調査・工事を着実に進め、全線開通に向けた道路整備をしっかりと進めていく」と決意を述べた。

また、同日12時40分から開通区間の通り初めが行われた。

道東自動車道（阿寒～釧路西）

高見政務官

北海道開発局が整備を進めてきた道東自動車道阿寒IC～釧路西ICが昨年12月20日に開通した。

道東自動車道は千歳恵庭JCTを起点とし、釧路別保ICおよび足寄ICに至る高速ネットワークで、国際拠点港湾の苫小牧港などへの物流の効率化や、地域間交流の活性化などを目的として、本別ICより東側を整備するもの。

祝 道東自動車道（阿寒IC～釧路西IC）開通式
開通式の様子

そのうち阿寒IC～釧路西IC（延長17・0㌔）が昨年12月22日に開通し、釧路と札幌が高速道路で直結した。

釧路・根室地域では、大規模地震による大きな津波が発生した際、市街地や国道などが浸水することが予想され、津波発生時における確実な緊急輸送道路の確保が必要とされていた。同区間の開通により、津波浸水エリアを回避して釧路市内へアクセスできるようになり、被災地への道路啓開や救援物資の輸送などの迅速な復旧活動の支援に寄与する命の道が構築された。

同区間の主要な橋梁は、山花大橋（橋長233㍍、幅員10・56㍍、鋼4径間連続合成2主鈑桁）や釧路西Dランプ橋（橋長82・6㍍、幅員5・51㍍、単純鋼床版箱桁）などで、いずれも2023年度までに完成している。

Dランプ橋

開通記念式は開通日当日、釧路市の釧路市阿寒町公民館で開催され、高見康裕国土交通大臣政務官や鈴木宗男衆議院議員、鈴木直道北海道知事らが参列した。また、同日12時から開通区間の通り初めが行われた。

新宮紀宝道路（紀宝～新宮北）

山本道路局長

紀伊半島を一周する全長約335㌔の近畿自動車道紀勢線の一部を構成する、延長約2・4㌔の自動車専用道路「一般国道42号　新宮紀宝道路」が、昨年12月7日に開通した。

この道路は2013年に事業化され、一級河川・熊野川を跨ぐ全長821㍍の「熊野川河口大橋（PC7径間連続箱桁橋、施工：大成建設・前田建設工業）」をはじめ、276㍍の「JR高架橋（鋼5径間連続少数鈑桁橋）」、65㍍の「ONランプ橋（鋼単純非合成箱桁橋）」、128㍍の「OFFランプ橋（鋼2径間連続非合成箱桁橋）」など、3本の橋梁（施工：高田機工）が建設された。

故、岸本知事

一見知事

同日、三重県紀宝町の「まなびの郷」では開通記念式典が行われ、国土交通省を代表して山本匠道路局長が登壇。「三重県と和歌山県をつなぐ初の高速道路が完成したことは、地域の皆様の深いご理解とご協力、そして関係者のご尽力の賜物である」と感謝を述べた。また「新宮紀宝道路は、災害時の交通確保や緊急医療活動、広域観光の推進などを目的として整備が進められてきた。今回、紀宝IC～新宮北IC間の約2・4㌔が開通したが、残る区間についてもすでに事業化されており、早期の全線開通を目指して全力で取り組んでいきたい」と語った。

二階特別顧問

続いて三重県の一見勝之知事は「三重県と和歌山県の絆がより強くなることを期待している。三重県側に残る約22㌔の区間についても、地域住民の皆様に安心していただけるよう着実に工事を進めていく」と述べた。和歌山県の故、岸本周平知事も、「新宮紀宝道路は、関係者の皆様の尽力の結晶であり、半島の防災を象徴する道路となるだろう」と語った。

また、高速自動車道紀南延長促進協議会の二階俊博特別顧問は「地域住民の強い要望と熱意が形となり、ようやく完成に至った。この道路がもたらす新たな活力を地域とともに実感したい」と喜びを表した。

熊野川河口大橋

さらに、衆議院議員の世耕弘成氏、鈴木英敬氏、中川正春氏、参議院議員の鶴保庸介氏、故、足立敏之氏、山本佐知子氏、田岡実千年新宮市長、西田健紀宝町長らが次々に登壇し、祝辞を述べた。

その後、工事を所管した近畿地方整備局紀南河川国道事務所の田中雄三所長が事業の概要を説明。11年9月に発生した紀伊半島大水害により、国道42号の新熊野大橋が通行不能となったことを振り返り、「命を守る災害に強い道路が求められる中、多くの皆様からの期待と支援を受け、約11年という期間での早期開通が実現できた」と感謝の意を示した。

田中所長

特に熊野川河口大橋の建設については、「作業船の上に重機を設置して行うなど、気象の影響を受けやすい厳しい条件下での施工だった」としたうえで、「その他の現場でも酷暑の夏や厳冬の中でも、現場の皆様が懸命に取り組んだおかげで完成に至った」と工事関係者の努力を称賛した。

ＪＲ高架橋

また、「この道路は南海トラフ巨大地震を想定した津波高に対応する構造となっており、災害時には緊急輸送路、津波発生時には一時避難場所としての役割も担う。法面には避難用の階段やスロープも整備されている」と説明した。

さらにビデオメッセージでは、熊野川河口大橋の建設に携わった前田建設工業の女性技術者が、子育てと両立しながら業務にあたったこと、その中で得られた充実感について語り、プロジェクト完成の喜びを共有した。

その後、一行は開通する道路へと移動し、記念のテープカットと渡り初めが厳かに行われた。

祝 一般国道42号 新宮紀宝道路 開通
テープカットの模様

南国安芸道路（高知龍馬空港～香南のいち）

佐々木次長

一般国道55号・高知東部自動車道・南国安芸道路の高知龍馬空港IC～香南のいちIC間、延長3・5㌔が3月15日に開通し、高知龍馬空港IC付近で開通式典が挙行された。

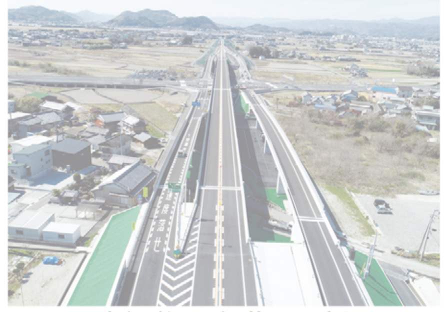
主催者として国土交通省道路局の佐々木俊一次長が挨拶に立ち、地権者や沿線住民、設計施工に携わった関係者の協力に感謝し、「道路の開通で、高知県東部地域の交流促進、渋滞緩和、救急搬送支援、地域活性化が期待される」と述べた。

祝 高知東部自動車道 南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC）開通
テープカット挙行

また、南海トラフ地震に備えるため、四国8の字ネットワークの早期整備とミッシングリンク解消に向けた取組み強化の必要性を訴えるとともに、道路整備に必要な予算確保について「5か年加速化対策」の着実な推進と「国土強靱化実施中期計画」の早期策定の重要性を強調した。

濱田知事

次に、高知県の濱田省司知事が登壇し、地域住民や自治体、工事関係者の尽力によってこの開通が実現したことに感謝し、四国8の字ネットワークの整備が進んでいることを強調。「今回の開通により、高知から芸西西までの27・5㌔が高規格道路でつながり、県内の高規格道路のネットワーク整備率が63%に達した」と報告した。また、南海トラフ地震の発生確率が高まる中、道路の整備が地域の防災・安全性を向上させることを再確認した。


高知龍馬空港ＩＣ橋

中谷防衛大臣

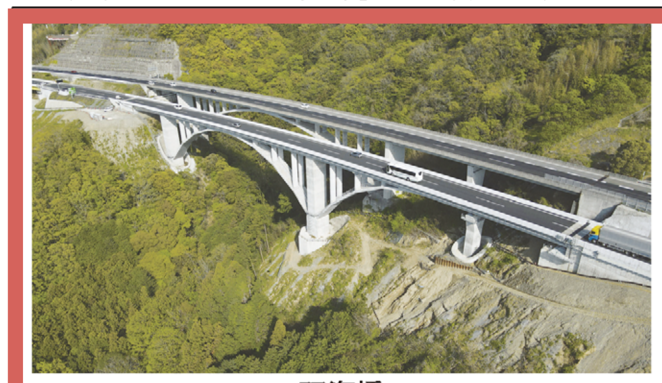
続いて中谷元防衛大臣は、完成までの道のりを振り返り、多くの協力と粘り強い要望があったこと、防災面では強靱で壊れない道路が必要不可欠であることを強調。徳島までの全通を目指し、四国の安全と安心を守るために引き続き努力する決意を示した。

空港ＩＣＯＦＦランプ橋

主な橋梁は、①高知龍馬空港IC橋の全長315・685㍍のうちの189・685㍍、PC4径間連続ラーメン箱桁橋の2径間75・305㍍を川田建設が、2径間の114・38㍍をピーエス・コンストラクションが、PC4径間連続ラーメン中空床版橋の126㍍を富士ピー・エスが施工した。②空港ICOFFランプ橋（133・6㍍、PC4径間連続ラーメン中空床版橋）は三井住友建設が施工。③新物部川大橋（243㍍、鋼4径間連続ラーメン合成少数鈑桁橋）は三井住友建設鉄構エンジニアリングが施工している。

新物部川大橋

松山自動車道（伊予市双海町上灘～三秋）


双海橋

NEXCO西日本四国支社が2016年から順次事業化され進めている松山自動車道4車線化工事。そのうち先行して伊予IC～内子五十崎IC間（約24㌔）に位置する愛媛県伊予市双海町上灘～伊予市三秋間、約6・3㌔区間が、4月19日に開通した。

施工中の様子

松山自動車道（川之江JCT～大洲IC）は、四国中央市から松山市を通過して大洲市に至る約127㌔の道路。地域経済や住民生活を支える重要な幹線道路としての役割を担っているが、松山IC以南は対面通行の2車線で運用されている。4車線化により、交通の円滑化や渋滞の緩和が期待されるほか、災害時のリダンダンシー向上など、安全性と信頼性の面で大きな効果が見込まれている。

また、同工事に伴い、新たに上り線として3橋が建設された。そのうち、烏谷橋は、橋長140・5㍍の鋼3径間連続非合成2主鈑桁橋、上灘川橋は、339・5㍍の鋼単純非合成細幅箱桁橋＋鋼5径間連続非合成2主鈑桁橋で、両橋とも設計は日本構造橋梁研究所、上部工施工は横河ブリッジが担当している。

また、双海橋は、232・3㍍のPC4径間連続バランスドアーチ橋。設計はエイト日本技術開発、施工は上部工・下部工とも鹿島建設・富士ピー・エスJVが担っている。

下り線と同様にアーチ橋形式での設計が求められた双海橋は、急峻な山間部に位置する地形や地質に起因する多くの制約から、施工上の困難が予想される橋梁だった。

アーチに難しい現場条件克服

廣瀬氏

設計に携わった、エイト日本技術開発の廣瀬彰則上席技師長は、「双海橋開通に際し、業務を振り返ると、同橋は、架設地が急峻で滑りやすい地盤に位置し、近接する中央構造線や一期線の基礎への影響も考慮する必要があった。そのような条件下で、アーチ橋の構造性能を担保する「踏ん張れる橋脚」の配置や、安全で効率的な架設工法の検討に頭を悩ませた。

発注者との協議を重ねた結果、比較的安定した地盤であるA2橋台側に大口径深礎杭基礎を採用し、背面のグラウンドアンカーを省略。P3橋脚と剛結した補剛桁から、アーチリブをトラス構造として張出し架設を行い、P2橋脚からも両側に張出しを行って中央部で閉合することで主径間を安定させる「固定張出し併用バランスドアーチ工法」を取り入れた。

さらに耐震設計では、P1橋脚に生じる負反力を考慮し、A1側に1径間を延長して跳ね上がりを防ぐカウンターウエイトを導入。地山掘削の影響を軽減するため、軽量コンクリートの人工地盤を造成し、その上から大口径深礎杭を打設する工法を採用した。

こうして本橋は、PC4径間の逆ランガー形式バランスドアーチ橋として設計され、施工においては、鹿島・富士PSJVが、補剛桁とアーチリブ用のワーゲンを上下二層に分けて用い、両側から張出し架設を行い、見事に完成に至った。関係者皆様のご尽力に心より感謝と祝辞を申し上げたい」。

双海橋のパース図

北海道横断自動車道　釧路市　Dランプ橋上部工事
株式会社　釧路製作所
代表取締役社長　羽劦　洋

新宮紀宝道路JR高架橋上部工事
新宮紀宝道路ランプ橋上部工事
高田機工株式會社
代表取締役社長　中村達郎
本社　大阪市浪速区難波中二丁目一〇番七〇号
電話　〇六（六六四九）五一〇〇

祝　開通　熊野川河口大橋
前田建設工業株式会社
MAEDA
代表取締役社長　前田操治
常務執行役員関西支店長　坂口伸也
本店　東京都千代田区富士見2－10－2　電話03（3265）5551（代）
関西支店　大阪市中央区久太郎町2－5－30　電話06（6243）2411（代）

高知空港IC高架橋上部工事
人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する
ピーエス・コンストラクション株式会社
代表取締役社長執行役員　森　拓也
本社　東京都港区東新橋一丁目九番一号　東京汐留ビルディング一八階
電話　〇三（六三八五）九一一一

令和2－3年度南国安芸道路空港ICOFFランプ橋外上部工事
三井住友建設株式会社
四国支店
支店長　黒川尚徳
支店　愛媛県新居浜市磯浦町一六番六号
電話　〇八九七（三三）五五五三

令和2－4年度南国安芸道路物部川橋上部工事
三井住友建設鉄構エンジニアリング
四国営業所
所長　横田博隆
支店　香川県観音寺市茂木町二丁目二番六号
電話　〇八七五（二三）六五九一

松山自動車道　双海橋　基本詳細設計
EJEC
株式会社
エイト日本技術開発
代表取締役社長　金　声漢
本社　東京都中野区中野二丁目二四番一一号
電話　〇三（五三四一）五一五二

松山自動車道　双海橋（その2）工事
Kajima FPS JV
鹿島建設㈱・㈱富士ピー・エス
特定建設工事共同企業体
工事作業所　愛媛県伊予市双海町上灘甲二〇五七－三
電話　〇八九（九六八）五五三三